

技能検定（電気めっき）について

令和7年10月20日

新プロセス開発室 高須大介

柿原工業では毎年複数名の方が技能検定を受験されています。

技能検定とは、職業に必要な技能の習得度を客観的に評価・証明する国家検定制度のことで、法律上は「職業能力開発促進法」に基づいて実施されており、厚生労働省が所管しています。

検定に合格すると合格証書が交付され、「技能士」の国家資格が得られます。

※ 国の資格制度一覧 https://www.soumu.go.jp/main_content/000096556.pdf

柿原工業では主に「電気めっき」「成形」「塗装」などの検定を受験していますが、今回はこの中の「電気めっき」の技能検定について紹介させていただきます。

技能検定には等級制度があり、現在柿原工業では「電気めっき」においては1級4名、2級39名の技能士の方がいます。

全国の電気めっき（2級）の合格率は50%程度ですが、柿原工業ではここ数年、全国平均、県内の平均と比べても低い傾向が続いています。

それを踏まえ今年は「職場の雰囲気事自体をその期間受験モードで覆う」をテーマに結団式を行い受験者、指導員の意識の向上と、受験雰囲気持続のため社内にパワーアップボタンを掲示して検定に臨みました。



触れると力が湧いてくるパワーアップボタン

技能検定は毎年夏に行われ、学科試験（知識）と実技試験（技能）の両方で評価されます。

検定を受ける方は実技試験においては、事前に実技講習会にて検定内容を学んだのち、社内で治具作りや滴定分析を各指導員と共に練習を繰り返して7月末の実技試験に臨みます。学科も同様に事前講習会、及び各自で過去問題などをこなして8月末の学科試験に臨みます。



実技講習会の様子



実技試験

実技試験においては、作業の正確さや、外観・膜厚など製品の仕上り、薬品の取り扱いについて評価されます。

今年度は実技試験7名、学科試験6名の方が受験し「結団式」「パワーアップボタン」の

効果もあって5人の方が合格しました。

合格された方、おめでとうございます！

12月中旬頃には、合格証書と技能士バッヂが届きます。

これらが届いたら、合格者（実技と学科共）の表彰式が行われるようです。

合格はゴールではなくてスタートです。これからは「技能士」として自らが学んできた知識や試験対策で培った内容を実務に生かし、後輩や新人に伝えて職場全体のレベルアップをお願いします。

また、今年度は電気めっきの受験者数は県内では柿原工業が最も多く受験しましたが、1級の受験者は0でした。

今度はぜひ1級合格を目指し頑張ってください。